

平成 28 年度川島町地域包括支援センター事業報告

報告者 櫻井栄子

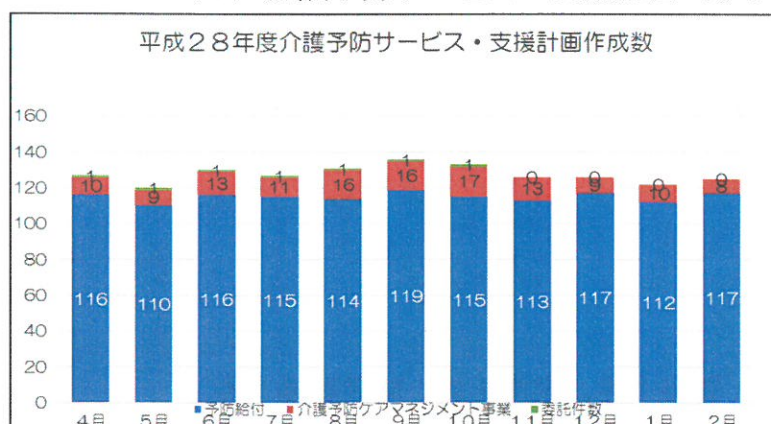
Ⅰ) 包括的支援事業	1) 介護予防マネジメント (ケアプランの作成)	
	2) 総合相談・支援、権利擁護事業	
	3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 (ケアマネジャーの後方支援・多職種との連携、協働による長期継続ケアの支援)	
Ⅱ) 介護予防事業		○日常生活自立支援総合事業 ・通所サービス B こつこつクラブ 介護予防支援ボランティア養成講座 ・通所サービス C 若返りサロン ○若返り脳講座 ・ファシリテーター養成講座 ・講話：脳を鍛える活動 認知機能検査：ファイブ・コグ ・地域型認知症予防プログラム ○協力事業 いきいきサロン
Ⅲ) 任意事業	1) 認知症関係	認知症サポーター養成講座 認知症サポーターフォローアップ研修 認知症カフェ開店にむけて
	2) 家族介護支援事業	認知症を支える家族の交流会

職員体制：看護師（1.4）社会福祉士（1）主任介護支援専門員（1）

Ⅰ) 包括的支援事業

1) 介護予防マネジメント事業

(1) 介護予防サービス・支援計画（ケアプラン）作成数



※予付給付（青）：従来の介護保険サービスを使う場合

介護予防ケアマネジメント（赤）：
日常生活支援総合事業を利用する場合（若返りサロン・こつこつクラブ等）

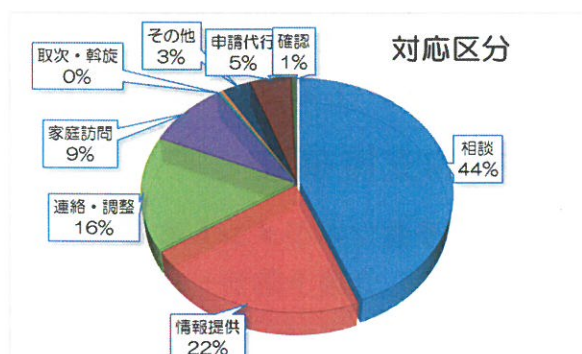
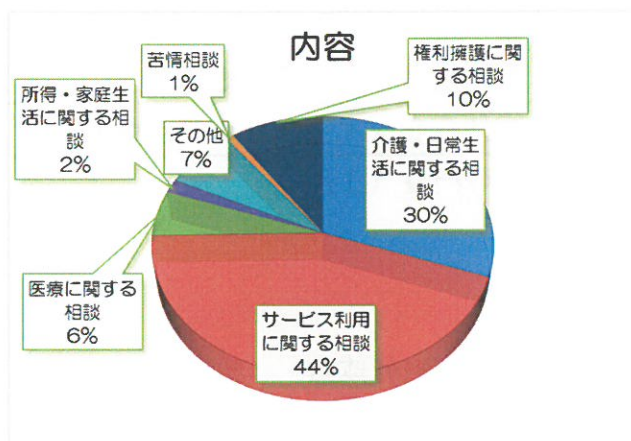
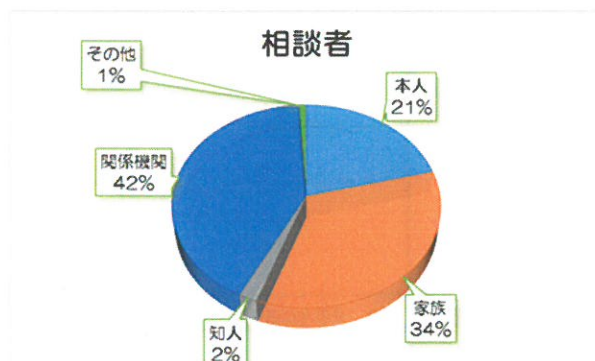
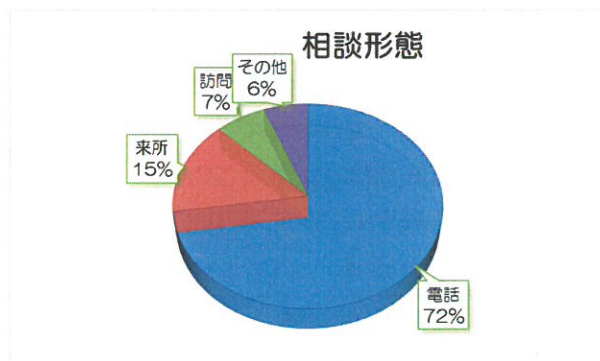
介護保険サービス・支援計画（ケアプラン）作成には予防給付と昨年1月より開始された日常生活支援総合事業を使う場合とあります。ケアプラン作成延べ件数は2月末現在で介護保険サービス1,271件（うち委託7件）、日常生活支援総合事業132件で合計1,403件、月平均127件（昨年98件）で一人あたりの担当件数は、年間通して常勤で35件を超えています。委託先は、川島町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所で10月までで終了しています。

2) 総合相談支援・権利擁護事業

(1) 総合相談業務

相談実績（延べ人数）

相談件数は、2月末現在で実件数は、434件延べ件数は、で514件でした。相談形態は、電話72%、来所15%、訪問7%でほぼ昨年と同じでした。相談者も関係機関42%、家族34%、本人21%で昨年とほぼ同じでした。相談の内容は、サービス利用に関する相談、介護・日常生活に関する相談が多かったです。対応区分は相談44%、情報提供22%、連絡調整16%（昨年14%）、家庭訪問が9%昨年とほぼ同じでした。



(2) 権利擁護事業

○高齢者虐待対応状況

①相談、通報

相談13件（5件は昨年より継続）

② 新規（8件）通報者

介護支援専門員4件、施設職員1件、警察1件、家族1件、訪問看護1件

③ 虐待相談

○虐待の種別・類型（重複）

	身体的虐待	介護放棄	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待
件数	9		6		4

○川島町高齢者虐待防止ネットワーク

10月11日 虐待ネットワーク全体会議

○啓発・広報事業

虐待予防ポスターを作成しネットワーク構成員に掲示を依頼

- ・町内医療機関 18カ所
 - ・町内介護保険事業所 15カ所
 - ・郵便局、消防署、J A等 8カ所
 - ・商工会会員商店 18カ所
 - ・スーパー、コンビニ等 16件
 - ・ガス、新聞、牛乳屋 5カ所 公共機関 15カ所
- 計 97カ所

○消費者被害

1件・・リホーム詐欺にあいかけたが未然に防いだ

○成年後見人制度

1件・・町長申し立てにより後見人がついた

3) 包括的・継続的マネジメント支援業務

ケアマネジャーの技術向上のためケアマネジャーの日常的個別指導、支援困難事例等への指導・助言、ケアマネジメントの公正・中立性の確保を図るため、地域のケアマネジャーの後方支援するとともに、多職種の連携・協働による長期継続ケアの支援が行う。

(1) 川島町内にある居宅介護支援事業所のケアマネジャーとの勉強会開催

参加者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
参加者数		13		16		15	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加者数	11	18		15	15		103

2月末の集計

内容

- ・事例検討会（5月、7月、10月、12月、1月、2月）
- ・研修

○9月 地域包括ケア会議（自立支援） ～リハビリ介入の目安について～

① 地域ケア会議におけるリハビリの関わり

理学療法士 川畑 聡氏

② 栄養状態・口腔機能の基本的アセスメントについて（20分程度）

言語聴覚士・管理栄養士 柴山由紀氏

理学療法士 川畑 聡氏

講師：健康福祉課 石島氏

6/17 ロイヤルレジデンス（介護支援専門員 2 名）6/17 川島町社会福祉協議会（介護支援専門員 4 名）、6/14 介護相談室秦（介護支援専門員 1 名）、6/14 居宅介護支援事業所きずな（介護支援専門員 5 名）6/3 永楽会指定介護支援事業所（介護支援専門員 1 名）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
受付件数	2	4	1	4	2	2	
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
受付件数	2	7	4	8	8		44

基準	現行の通所介護相当	多様なサービス		
サービス 種別	① 通所介護	② 通所型サービスA (緩和した基準によるサービス)	③ 通所型サービスB (住民主体による支援)	④ 通所型サービスC (短期集中予防サービス)
サービス 内容	通所介護と同様のサービス 生活機能の向上のための機能訓練	ミニデイサービス 運動・レクリエーション 等	体操、運動等の活動など、自主的な通いの場	生活機能を改善するための運動器の機能向上や栄養改善等のプログラム
対象者と サービス提供の 考え方	○既にサービスを利用しており、サービスの利用の継続が必要なケース ○「多様なサービス」の利用が難しいケース ○集中的に生活機能の向上のトレーニングを行うことで改善・維持が見込まれるケース ※状態等を踏まえながら、多様なサービスの利用を促進していくことが重要。	○状態等を踏まえながら、住民主体による支援等「多様なサービス」の利用を促進		・ADLやIADLの改善に向けた支援が必要なケース 等 ※3～6ヶ月の短期間で実施
実施方法	事業者指定	事業者指定／委託	補助(助成)	直接実施／委託
基準	予防給付の基準を基本	人員等を緩和した基準	個人情報の保護等の最低限の基準	内容に応じた独自の基準
サービス 提供者(例)	通所介護事業者の従事者	主に雇用労働者 ＋ボランティア	ボランティア主体	保健・医療の専門職 (市町村)

27年度、28年度育成した介護予防ボランティアさんを中心に中山公民館、伊草公民館、小見野公民館、出丸公民館、ハツ保公民館でおこない、2月末現在、延べ1,356人が参加しています。今年度はかわべえいきいき体操への移行も考えていたのですが、参加者、ボランティアさんが継続を希望され継続となっています。運動機能の

維持向上だけでなく参加することが楽しみのになっておりお互いに連絡をとりあったりしています。会場作りも椅子を準備したり、重い机を準備したり大変なのですが、腰や膝の痛い方へのいたわりもあり、和やかな雰囲気になっています。男性の参加者が少ないのが課題です。

参加者数： 延べ参加者数 1,356 人

	中山公民館 (水曜日)		伊草公民館 (火曜日)		小見野公民館 (土曜日)		出丸公民館 (金曜日)		ハツ保公民館 (木曜日)	
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
参加実人数 H28 年 2 月 末	60	607		186		120		94	1	288
平成 2 8 年度 延べ人数	667		186		120		94		289	
平成 2 7 年度 延べ人数	887		291		200		71		401	
平成 2 6 年度 延べ人数	726		250		182		128			
※H25 年度 延べ人数	701		127		96					

実施回数：各会場とも週 1 回

内容：椅子に座ったり、椅子につかまっの運動、チューブを使った運動（ストレッチ+筋肉トレーニング）（メニューは平成の森・川島病院理学療法士作成）参加者同士で血圧測定や健康チェックして声をかけながら行う。



（中山公民館の様子）

(2) 介護予防支援ボランティア養成（こつこつクラブの支援）

内容とカリキュラム

	内容
5月21日（土）13：30～15：30	高齢者の健康課題介護予防の役割 川島町の介護予防事業について
6月4日（土）13：30～15：30	若返りサロンの体験と体力測定
6月11日（土）13：30～16：00	介護予防と栄養について
6月18日（土）10：00～11：30	認知症の理解とサポート （認知症サポーター養成講座）
6月25日（土）13：30～15：30	レクリエーションの効果と実際 ボランティア活動を行うにあたって

受講生 2 名

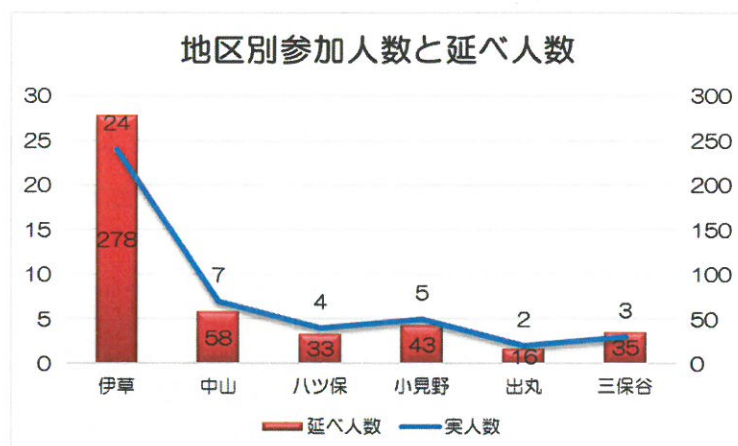
計画にかわべえいきいきサポーター養成講座実施が決定し、中止も検討したが、2 名の方には両方受講していただきました。

(3) 若返りサロン通所型サービス C 短期集中予防サービス

実施回数：週 1 回、3 ヶ月～6 か月間実施し 45 名が参加しました。参加費：無料 送迎：あり 内容：運動機能向上（集団プログラム+個別プログラム）+介護予防の啓発（転倒予防、認知症予防、口腔機能向上、インフルエンザ、脱水症の予防等）

講師：平成の森・川島病院 理学療法士、川島町地域包括支援センター 看護師他

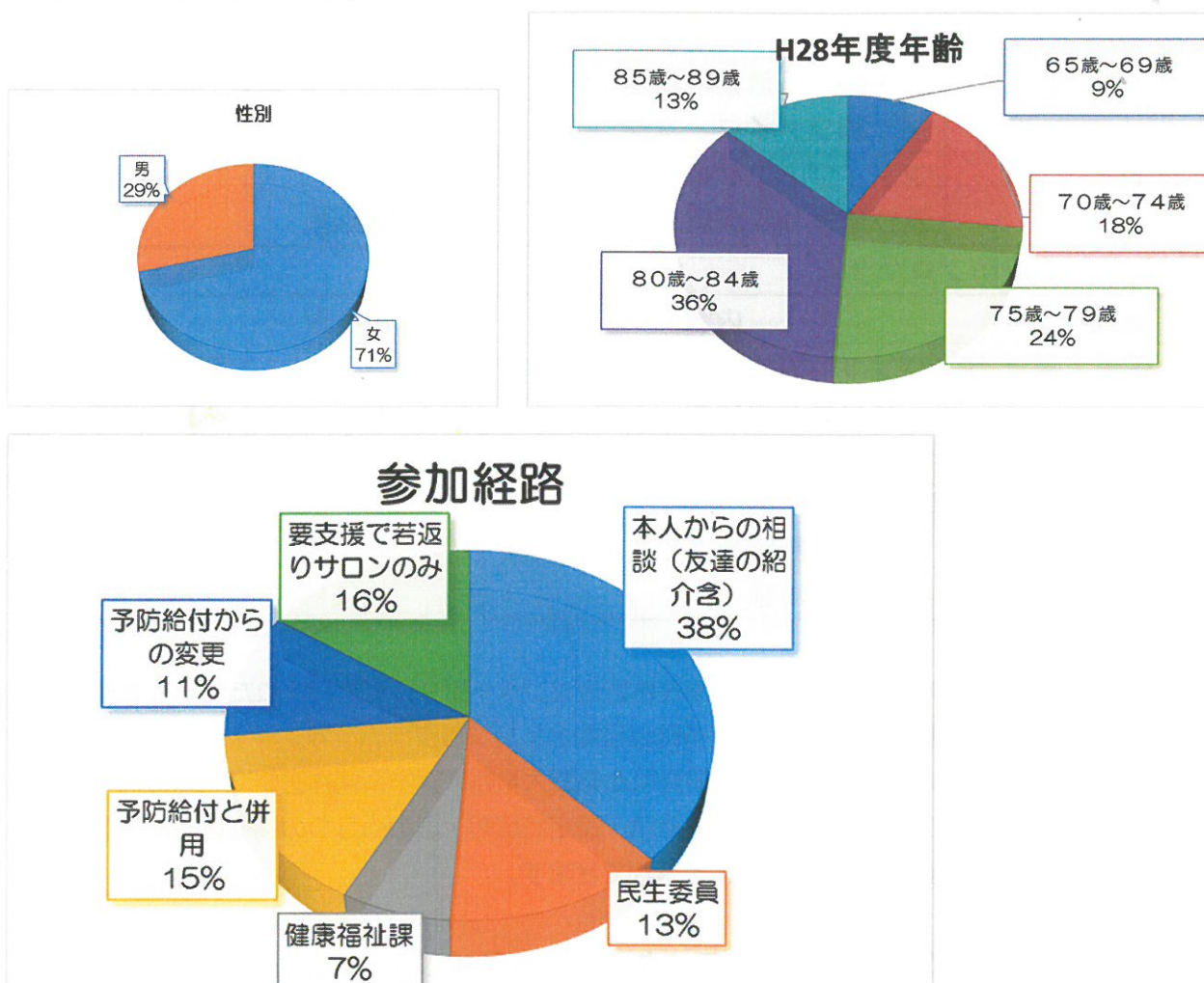
参加者数：地区別参加人数は、伊草地区 24 名、中山地区 7 名、八ッ保地区 4 名、小見野地区 5 名、出丸地区 2 名、三保谷地区 3 名でした。



参加者性別・年齢

参加者の性別は、女性 71%、男性 29%でした。昨年より男性が若干増加(昨年 23%)していました。参加者の年齢は 60 歳代が 9%(昨年 9%)、70 歳から 74 歳が 18%(昨年 19%)、75 歳から 79 歳が 24%(昨年 47%)、80 歳から 84 歳 36%(昨年 21%) 85 歳から 89 歳 13%(昨年 4%)と、昨年と比較すると 80 歳以上の参加者が増えています。参加経路をみると、半数の方が要支援認定を受けていて、予防給付（介護保険サービス）から若返りサロンに変更した方が 11%、予防給付と併用が 15%、要支援で若返りサロンのみ利用が 16%

でした。昨年の二次予防事業の若返りサロンと比較すると高齢で支援を必要とする参加者が増えていると言えます。



（３）若返り脳講座（地域型認知症予防プログラム※）

○ファシリテーター（支援者）養成講座

受講生 6 名

実施日	場所	参加人数	内容
6月11日	平成の森・川島病院	6	認知症サポーター養成講座
6月18日	平成の森・川島病院	6	軽度認知障害について 認知症予防の根拠 地域型認知症プログラムの概要
6月25日	平成の森・川島病院	5	ファシリテート理論と技術 評価について ファイブ・コグについて
7月2日	平成の森・川島病院	5	プログラムの進め方 ファイブ・コグの実施
9月10日	平成の森・川島病院	5	進め方の復習、ウォーキングの測定

○認知症予防の講話

実施日	内容	参加者数	備考
8月20日	第一部 脳を鍛える活動の講話 第二部ファイブ・コグ	25名	
8月27日	ファイブ・コグ※結果説明会 及び若返り脳講座の説明	15名 10名は郵送	

○地域型認知症予防プログラム

実施日	内容	参加者数	備考
9/17～毎週土曜日 16回	パソコンのすすめ パソコンの操作を習得しミニ コミ誌2号まで作成 旅行のすすめ 調べて計画を立てて2回実施 上野、川越	7名 2名	その後も自主 活動で継続中

※地域型認知症予防プログラムは、東京都健康長寿医療センター研究所で開発された認知症を発症していない一般の高齢者を対象とした認知症予防を目的としたプログラムです。

※ファイブ・コグ検査とは、東京都老人総合研究所と筑波大学臨床医学系精神医学で開発された集団認知機能検査です。脳の機能の記憶・注意・言語・視空間認知・思考の5つの機能を測る検査で、その結果から、自分の脳の機能の状態を知る事ができます。

プログラムの支援者であるファシリテーターを6名養成し5名のかたと一昨年養成した3名に今年度活動していただきました。

認知症予防講話は25人が参加され、東京都老人総合研究所と筑波大学で開発した地域型認知症プログラム(パソコンのすすめ・旅行のすすめ)には9人が参加されました。現在も自主活動中です。



パソコンのすすめグループ



ミニコミ誌



旅行すすめグループ



(4) いきいきサロン等の出前講座

月	会場	内容
6/1	フラットピア	認知症の予防
6/3	角泉集落センター	転倒予防教室
6/8	下ハツ林集落センター	高血圧の予防と改善
6/14	出丸公民館	転倒予防教室
11/4	鳥羽井集落センター	認知症の予防について
11/24	下廓会館	介護保険について、体を動かす
2/19	白井沼集落センター	高血圧について

Ⅲ) 任意事業

1) 認知症サポーター養成講座

(1) 養成講座

実施日	年齢						参加人数
	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
6月16日 住民			1	6	1		8
7月16日 住民	2			1			3
7月19日 パティオ		1		11	7		19
7月22日 川島消防署①	9	4	2	1			16
7月23日 川島消防署②	12	17	3				32
10月22日 ボランティア灯り		1		8	4		13
11月12日 住民			1	1	3		5
11月25日 シニア学園				8	5		13
11月30日 社協ボランティア養成講座		1	1	9	7		18

1 月 21 日 住民	2	2	1	1			6
1 月 21 日 八幡地区班長会議		4	9	29	9		51
1 月 28 日 小見野公民館	1		4	16	5		26
2 月 4 日 シニア学園 20 期生				4	10		14
計	40 歳未 満 26	40 歳代 30	50 歳代 22	60 歳 代 95	70 歳 代 51	80 歳 以上	224

認知症サポーター養成講座は 13 回実施して 224 人が受講しています。

内容

キャラバンメイトによる講義

認知症とは（認知症の症状、認知症の診断・治療、認知症の予防）、認知症の人との接し方、認知症介護をしている家族の気持ちを理解する、紙芝居 認知症の人への関わり方、認知症サポーターの役割

（２）認知症サポーターフォローアップ研修

実施日	参加人数	内容
1 月 28 日	37 名	○講話 何故今、認知症カフェ ○グループワーク どんな認知症カフェにしたいか他
2 月 4 日	43 名	徘徊模擬訓練（小見野地区）

認知症サポーターフォローアップ研修は延べ 80 人が参加されました

（３）認知症カフェ（オレンジカフェ）

2/25 第 1 回認知症カフェ運営委員会

健康福祉課 1 名、地域包括 3 名、認知症サポーター 20 名

3/11 第 2 回認知症カフェ運営委員会

4/22（土）オレンジカフェ伊草開店予定

認知症カフェは、認知症の人やその家族、各専門家や地域住民が集う場として提供され、お互いに交流をしたり、情報交換をしたりすることを目的として近年急増しています。認知症の人が「スタッフ」として、コーヒーや軽食をふるまうこともあり、自分の存在意義を確認するという役割も果たしています。カフェといっても現状では、一般的なカフェのように営業するのではなく、月数回の定期イベントとして開催されるケースが多いです。

2）家族介護支援事業

① 認知症を支える家族の交流会（奇数月に実施）

参加者数

月	5月	7月	9月	11月	1月	3月	計
参加者数	6	6	7	9	8		36

内容 認知症についての勉強会(30分)と交流
勉強会(ビデオ)

月	内容(DVD※)
5月21日	DVD オレンジプランの検証 ～在宅支援の最前線～
7月16日	DVD 認知症キャンペーン 認知症介護 家族の悩みに答えます
9月17日	ハートネット アルツハイマー病について 認知症が進んだ時
11月19日	認知症キャンペーン 認知症の私たちにできること
1月16日	DVD ユマニチュード

※NHK 厚生文化事業団より借用

② 介護者のための折り紙講習会 講師：橋本忠勝氏

実施日	内容	参加者
4月21日	サルのかごや	8名
6月16日	チューリップ	16名
8月18日	傘①	14名
10月20日	傘②	10名
12月22日	ペンギン	9名
2月16日	お雛様	14名
計		71名

